

福井県特定不妊治療費助成等事業の対象となる治療

R5.9.1時点

	技術名	先進医療技術名	技術の概要	福井県特定不妊治療費助成等事業の対象となった日
先進医療	PICSI	ヒアルロン酸を用いた生理学的精子選択術	ヒアルロン酸を含有する培地を用いて、成熟精子の選択を行う技術	令和4年4月1日
	タイムラプス	タイムラプス撮像法による受精卵・胚培養	培養器に内蔵されたカメラによって、胚培養中の胚を一定間隔で自動撮影し、培養器から取り出すことなく、正確な胚の評価が可能となる技術	
	子宮内細菌叢検査（EMMA/ALICE）	子宮内細菌叢検査1	子宮内の細菌叢が、正常であるのか、異常であるのか、またその菌の種類組成を判断する検査。	
	SEET法	子宮内膜刺激術	胚培養液を胚移植数日前に子宮に注入し、受精卵の着床に適した環境を作り出す技術	
	子宮内膜受容能検査（ERA）	子宮内膜受容能検査1	子宮内膜を採取し、次世代シーケンサーを用いて遺伝子の発現を解析し、内膜組織が着床に適した状態であるのかを評価する検査。	
	子宮内膜スクラッチ	子宮内膜擦過術	胚移植を行う予定の前周期に子宮内膜のスクラッチ（局所内膜損傷を与える）を行い、翌周期に胚移植を行う技術。	
	IMSI	強拡大顕微鏡を用いた形態学的精子選択術	強拡大の顕微鏡を用いて、成熟精子の選択を行う技術。	
	子宮内フローラ検査	子宮内細菌叢検査2	子宮内の細菌叢が、正常であるのか、異常であるのか、またその菌の種類組成を判断する検査。	
	二段階胚移植法	二段階胚移植術	先行して初期胚を移植し、後日、継続培養を行った別の胚盤胞を移植する技術。	
	不妊患者に対するタクロリムス投与療法	タクロリムス投与療法	反復着床不全に対して、免疫抑制剤（タクロリムス）の投与を行う技術。	
	子宮内膜受容期検査（ERPeak）	子宮内膜受容能検査2	子宮内膜を採取し、RT-qPCRを用いて遺伝子の発現を解析し、内膜組織が着床に適した状態であるのかを評価する検査。	令和4年6月9日
	膜構造を用いた生理学的精子選択術	膜構造を用いた生理学的精子選択術	マイクロ流体デバイスを用いた細胞分取装置を用いて、運動能を維持したまま精子を選別する技術	令和4年9月8日
着床前胚異数性検査（PGT-A/SR）	着床前胚異数性検査	胚から一部の細胞を採取して染色体の量の解析を行い、染色体数が正常な胚を選択する技術	令和4年4月1日	
審議中の技術	前核期人為的透明帯除去法		前核期において受精卵を取り囲んでいる透明帯を取り除いて培養した受精卵を移植する手法	令和4年9月8日～11月17日審議終了

※治療開始日時点で、先進医療または先進医療会議において審議中の技術が対象となります。

※審議終了後（先進医療会議で棄却された後）に治療を開始した場合は助成対象外です。